

営業地区内お取引先企業の 景気動向調査レポート

[2022年1～3月期]

調査要領

- ◆調査時期 2022年3月上旬
- ◆調査対象期間 2022年1月～3月期(第4四半期)実績
2022年4月～6月期(第1四半期)予想
- ◆調査対象先 当金庫取引先 440先
- ◆調査地域 (但陽信用金庫の営業店所在地)
 - ①東播磨地域 … 加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
 - ②姫路地域 … 姫路市
 - ③朝来・神崎・加西地域 … 朝来市、神河町、市川町、福崎町、加西市
 - ④全営業地区 … ①、②、③の合計
- ※業種別調査地域
 - A.東播磨地域 … 加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
 - B.姫路地域 … 姫路市
 - C.全営業地区 … 上記④と同様の地域
- ◆調査方法 渉外担当者による聞き取り調査

◆分析方法 D.I. による分析

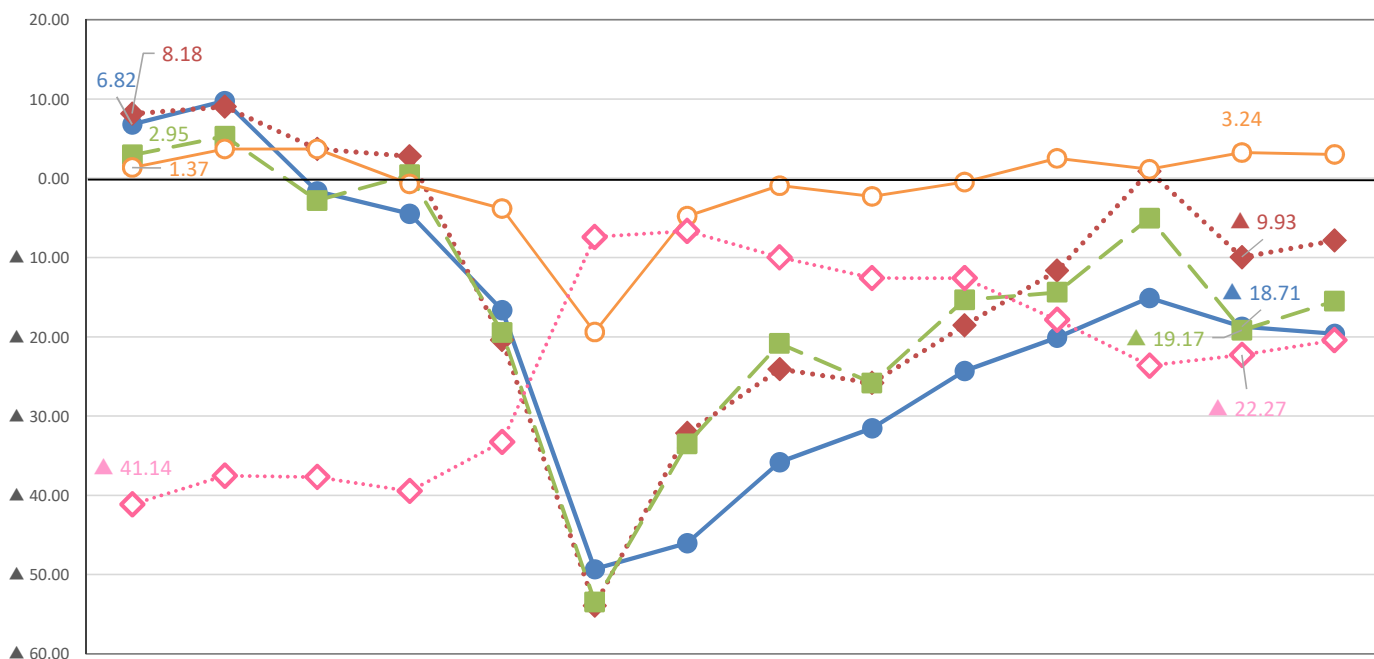
※ D.I. (Diffusion Index)とは
「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した企業の割合との差により、景気の方向を判断する指数

◆調査依頼先および回答状況

	依頼先数	回答数	回答率
製造業	164	162	98.8%
サービス業	64	64	100.0%
不動産業	30	27	90.0%
小売業	59	59	100.0%
卸売業	45	45	100.0%
建設業	78	76	97.4%
合計	440	433	98.4%

営業地区内の景気概況と主要D.I.の推移

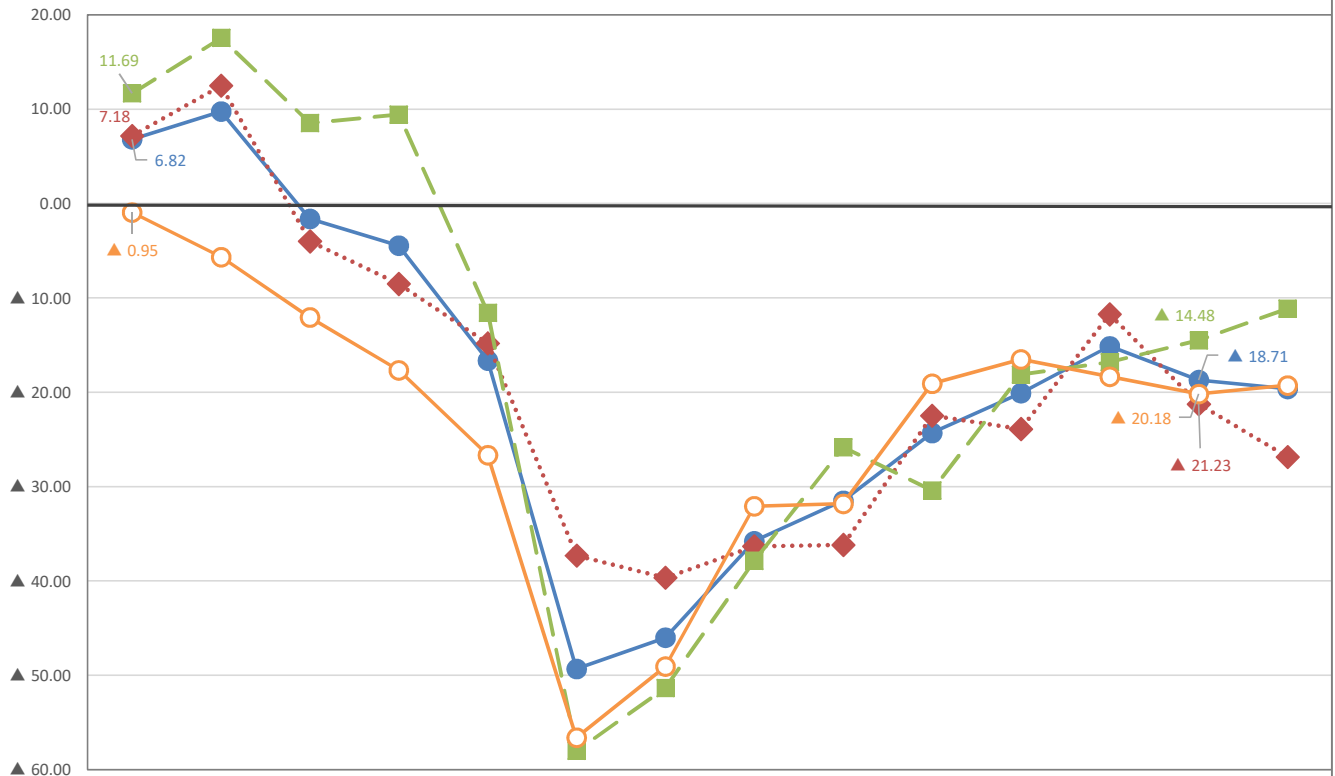
今期の全地域・全業種における業況D.I.は▲18.71と前期から3.61ポイント低下し、7期連続の改善とはなりません。売上額D.I.・収益D.I.も低下した一方で、人手過不足D.I.・資金繰りD.I.には改善がみられました。特に資金繰りD.I.は2.10ポイント上昇しています。来期は、業況D.I.が低下、売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.が若干の改善、資金繰りD.I.は低下するもののプラス域を維持する予想になっています。コロナ禍以前の水準に向けて徐々に景気回復の傾向がみられていましたが、2月24日、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まり、さらなる原材料・燃料価格等の高騰が予想されるなど、経済活動への重大な影響が懸念されます。



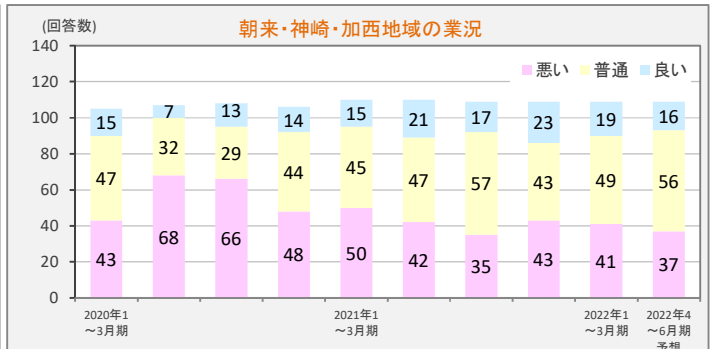
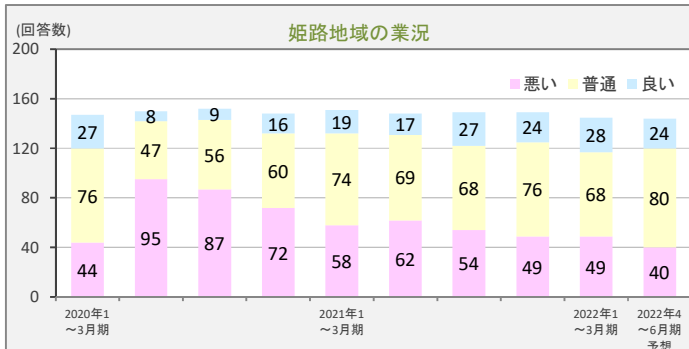
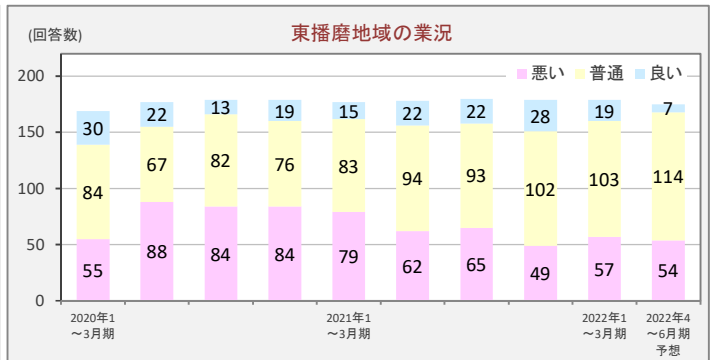
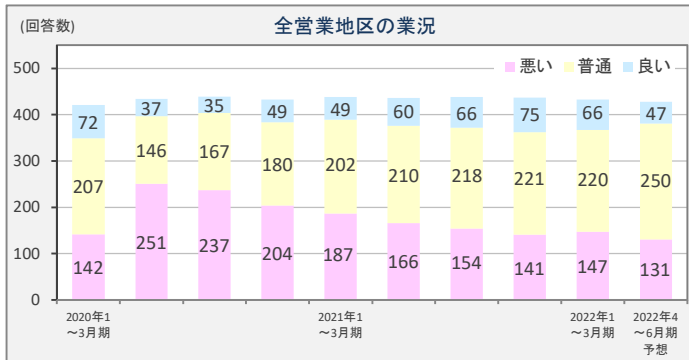
	2019年1～3月期	2019年4～6月期	2019年7～9月期	2019年10～12月期	2020年1～3月期	2020年4～6月期	2020年7～9月期	2020年10～12月期	2021年1～3月期	2021年4～6月期	2021年7～9月期	2021年10～12月期	2022年1～3月期 (今回)	2022年4～6月期 (予想)
業況	6.82	9.77	▲1.63	▲4.46	▲16.63	▲49.31	▲46.01	▲35.80	▲31.51	▲24.31	▲20.09	▲15.10	▲18.71	▲19.63
売上額	8.18	9.03	3.70	2.81	▲20.38	▲53.92	▲32.12	▲24.07	▲25.80	▲18.54	▲11.64	0.91	▲9.93	▲7.85
収益	2.95	5.32	▲2.78	0.47	▲19.43	▲53.46	▲33.49	▲20.83	▲25.80	▲15.33	▲14.38	▲5.01	▲19.17	▲15.47
資金繰り	1.37	3.71	3.70	▲0.70	▲3.80	▲19.40	▲4.78	▲0.92	▲2.28	▲0.46	2.52	1.14	3.24	3.01
人手過不足	▲41.14	▲37.50	▲37.67	▲39.44	▲33.25	▲7.39	▲6.64	▲9.95	▲12.56	▲12.59	▲17.85	▲23.62	▲22.27	▲20.42

営業地区内地域別業況D.I.の推移

今期の地域別業況は、東播磨地域が▲21.23と前期から9.50ポイント低下し、姫路地域は▲14.48と2.30ポイントの改善、朝来・神崎・加西地域は▲20.18と1.83ポイント低下しています。来期は、東播磨地域が5.63ポイント低下する一方、姫路地域では3.37ポイント、朝来・神崎・加西地域は0.91ポイント改善しますが、全営業地域では0.92ポイント低下する予想になっています。

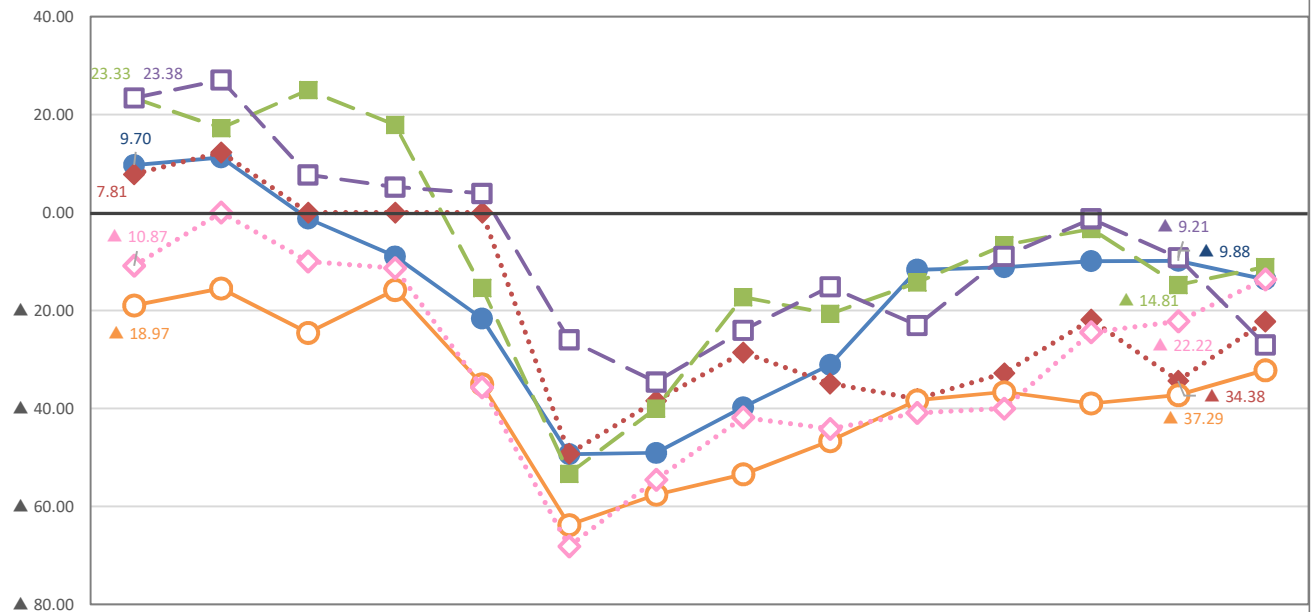


	2019年1月 ～3月期	2019年4月 ～6月期	2019年7月 ～9月期	2019年10月 ～12月期	2020年1月 ～3月期	2020年4月 ～6月期	2020年7月 ～9月期	2020年10月 ～12月期	2021年1月 ～3月期	2021年4月 ～6月期	2021年7月 ～9月期	2021年10月 ～12月期	2022年1月 ～3月期 (今回)	2022年4月 ～6月期 (予想)
全営業地区	6.82	9.77	▲1.63	▲4.46	▲16.63	▲49.31	▲46.01	▲35.80	▲31.51	▲24.31	▲20.09	▲15.10	▲18.71	▲19.63
東播磨地域	7.18	12.50	▲4.00	▲8.52	▲14.79	▲37.29	▲39.66	▲36.31	▲36.16	▲22.47	▲23.89	▲11.73	▲21.23	▲26.86
姫路地域	11.69	17.57	8.55	9.46	▲11.56	▲58.00	▲51.32	▲37.84	▲25.83	▲30.41	▲18.12	▲16.78	▲14.48	▲11.11
朝来・神崎・加西地域	▲0.95	▲5.66	▲12.62	▲17.65	▲26.67	▲57.01	▲49.07	▲32.08	▲31.82	▲19.09	▲16.51	▲18.35	▲20.18	▲19.27

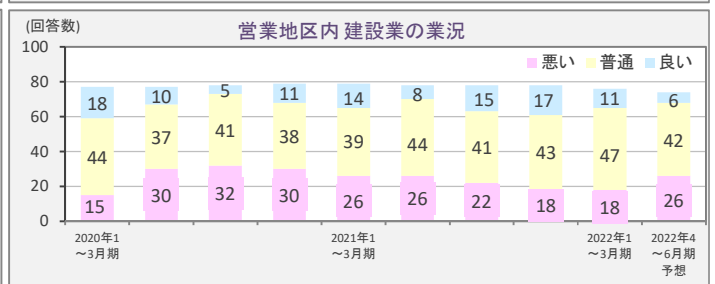
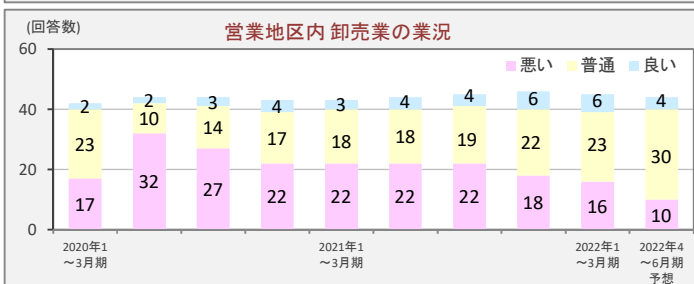
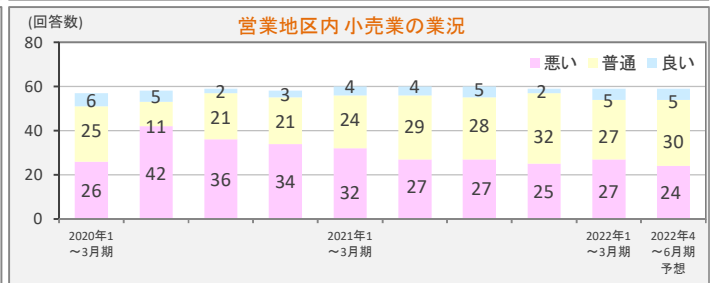
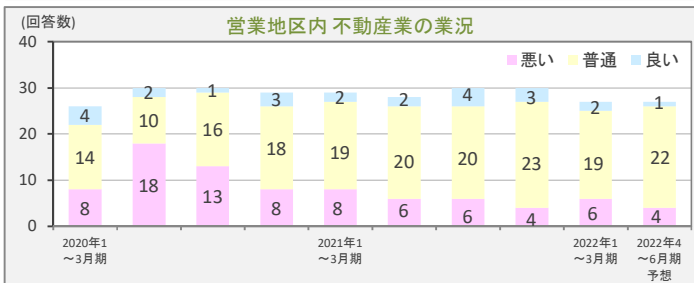
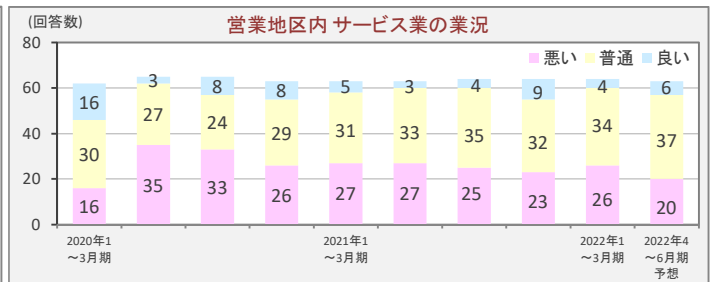
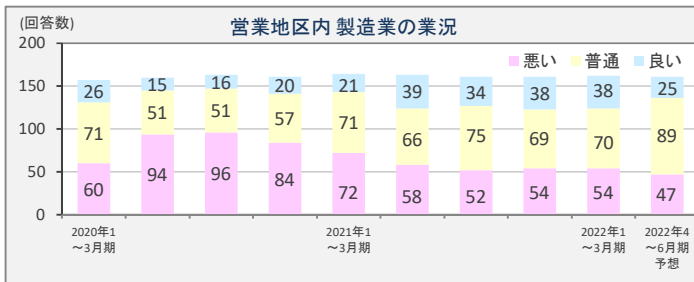


営業地区内業種別業況D.I.の推移

業種別では、製造業が▲9.88と0.06ポイントの改善、サービス業が▲34.38と12.50ポイントの低下、不動産業は▲14.81と11.48ポイントの低下、小売業は▲37.29と1.69ポイントの改善、卸売業は▲22.22と2.22ポイントの改善、建設業は▲9.21と7.93ポイント低下しました。来期は、製造業・建設業が低下、サービス業・不動産業・小売業・卸売業が改善する予想になっています。



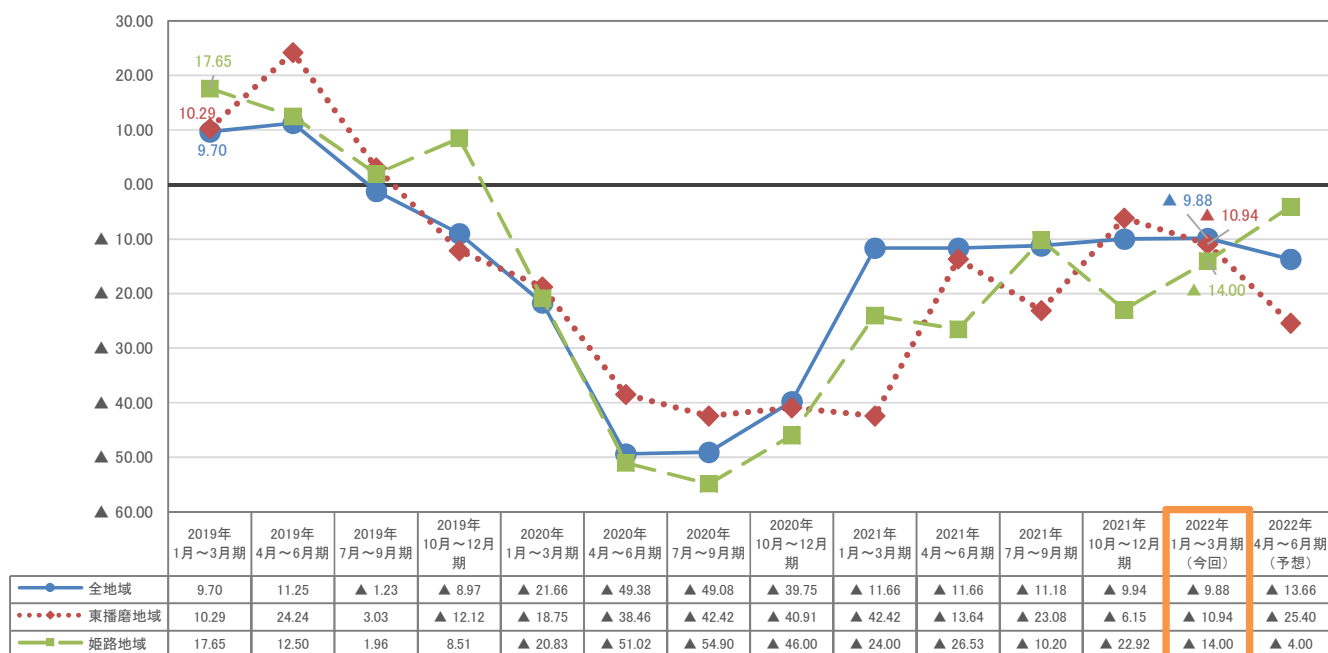
	2019年1～3月期	2019年4～6月期	2019年7～9月期	2019年10～12月期	2020年1～3月期	2020年4～6月期	2020年7～9月期	2020年10～12月期	2021年1～3月期	2021年4～6月期	2021年7～9月期	2021年10～12月期	2022年1～3月期 (今回)	2022年4～6月期 (予想)
製造業	9.70	11.25	▲1.23	▲8.97	▲21.66	▲49.38	▲49.08	▲39.75	▲31.10	▲11.66	▲11.18	▲9.94	▲9.88	▲13.66
サービス業	7.81	12.31	0.00	0.00	0.00	▲49.23	▲38.46	▲28.57	▲34.92	▲38.10	▲32.81	▲21.88	▲34.38	▲22.22
不動産業	23.33	17.24	25.00	17.86	▲15.38	▲53.33	▲40.00	▲17.24	▲20.69	▲14.29	▲6.67	▲3.33	▲14.81	▲11.11
小売業	▲18.97	▲15.52	▲24.56	▲15.79	▲35.09	▲63.79	▲57.63	▲53.45	▲46.67	▲38.33	▲36.67	▲38.98	▲37.29	▲32.20
卸売業	▲10.87	0.00	▲10.00	▲11.36	▲35.71	▲68.18	▲54.55	▲41.86	▲44.19	▲40.91	▲40.00	▲24.44	▲22.22	▲13.64
建設業	23.38	27.03	7.69	5.19	3.90	▲25.97	▲34.62	▲24.05	▲15.19	▲23.08	▲8.97	▲1.28	▲9.21	▲27.03



地域別業況D.I.

...

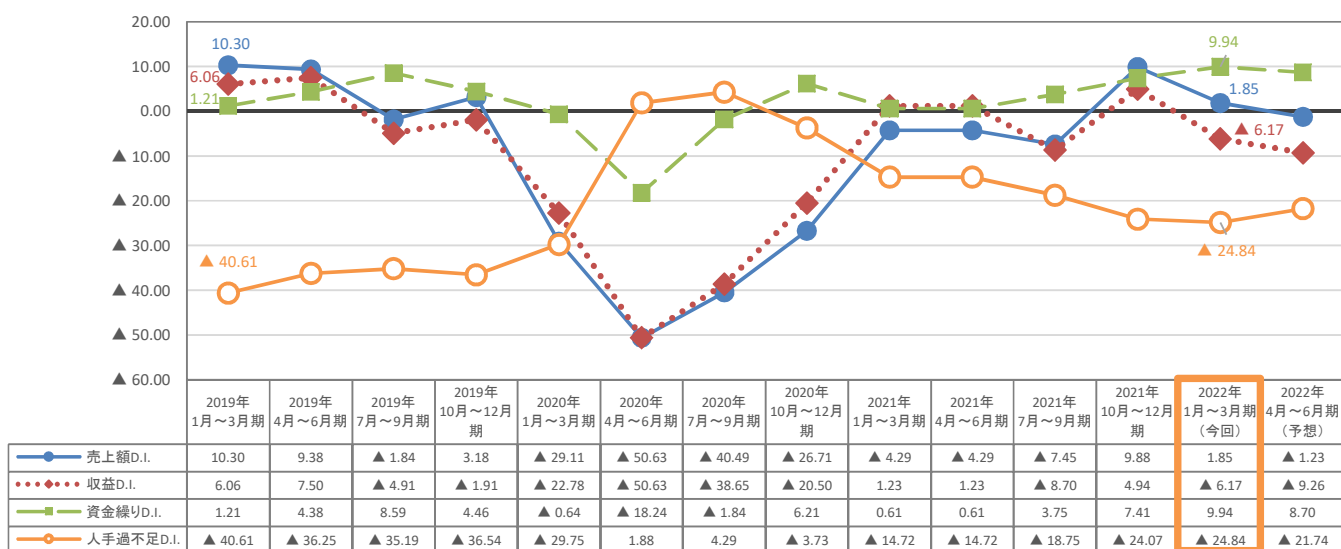
全地域の業況D.I.は▲9.88 と、前期から 0.06 ポイント改善しています。東播磨地域は▲10.94 と 4.79 ポイント低下し、姫路地域では▲14.00 と 8.92 ポイント改善しています。来期は東播磨地域の低下が、姫路地域の改善予想を上回ることから、全地域においても低下の予想になっています。



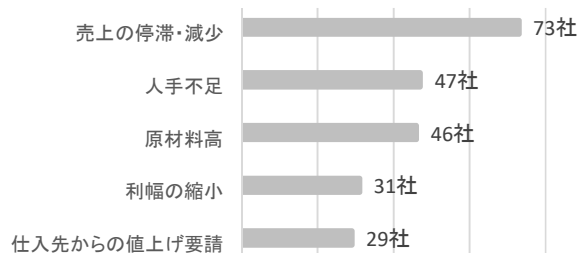
その他主要D.I.

...

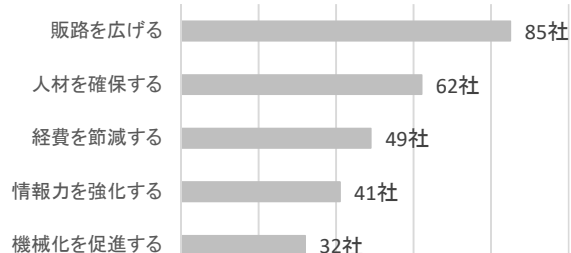
売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.は前期より低下しましたが、資金繰りD.I.は2.53ポイント上昇し、プラス域を維持しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.がマイナス予想、人手過不足D.I.はプラス予想になっています。



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



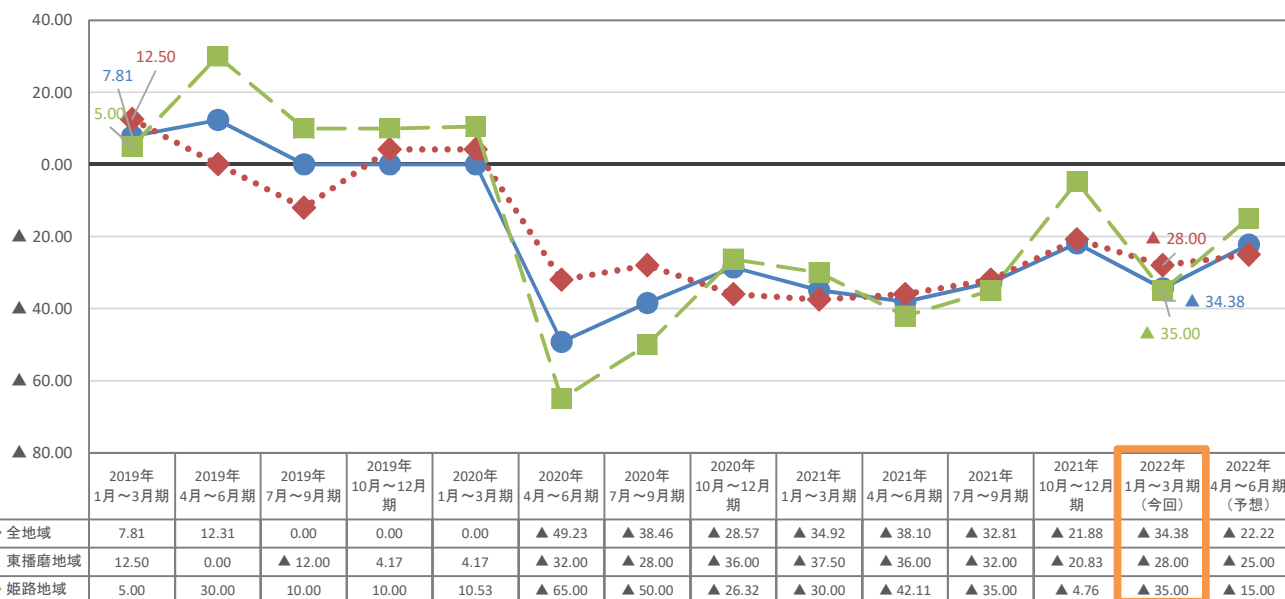
当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



地域別業況D.I.

・・・

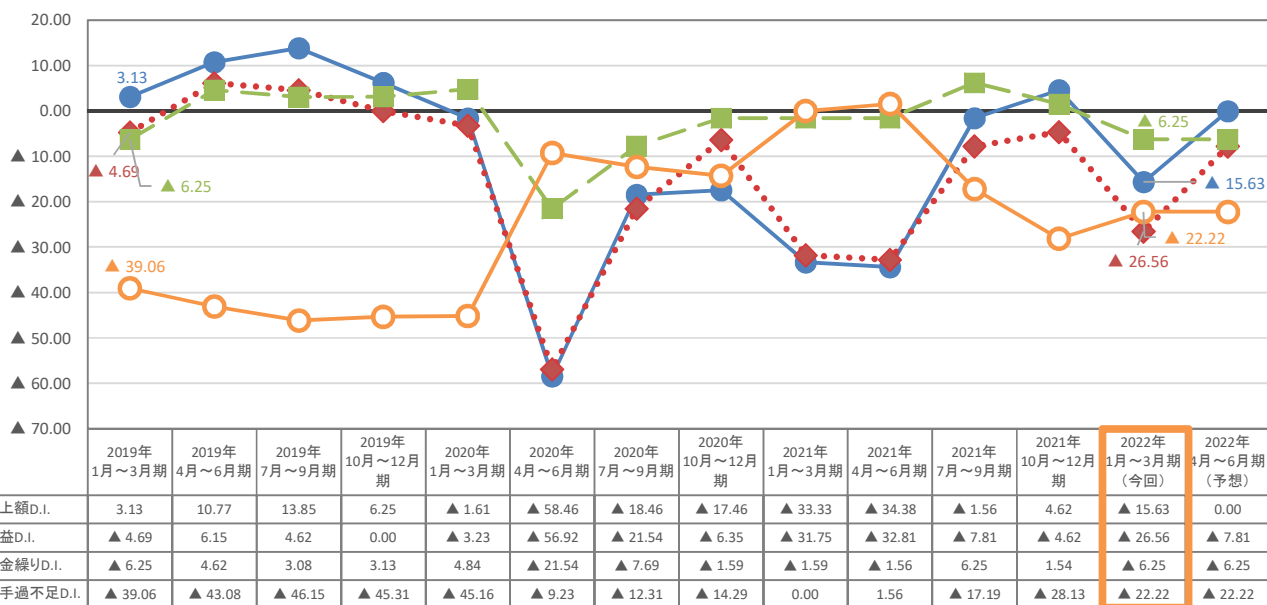
コロナの影響が大きい業種であり、全地域の業況D.I.は▲34.38と、前期から12.50ポイント低下しています。東播磨地域は▲28.00と7.17ポイントの低下、姫路地域でも▲35.00と30.24ポイントの低下となりましたが、来期は全地域・地域別ともに改善の予想になっています。



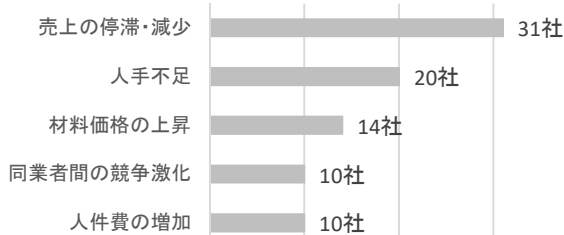
その他主要D.I.

・・・

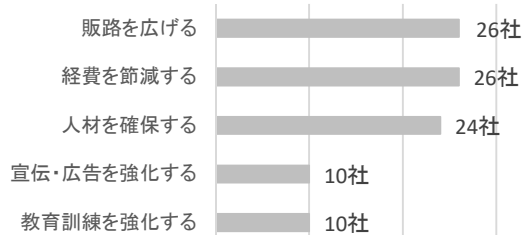
売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.は前期から低下し、人手過不足D.I.は5.91ポイント改善しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.が改善、資金繰りD.I.と人手過不足D.I.が横ばいの予想になっています。



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

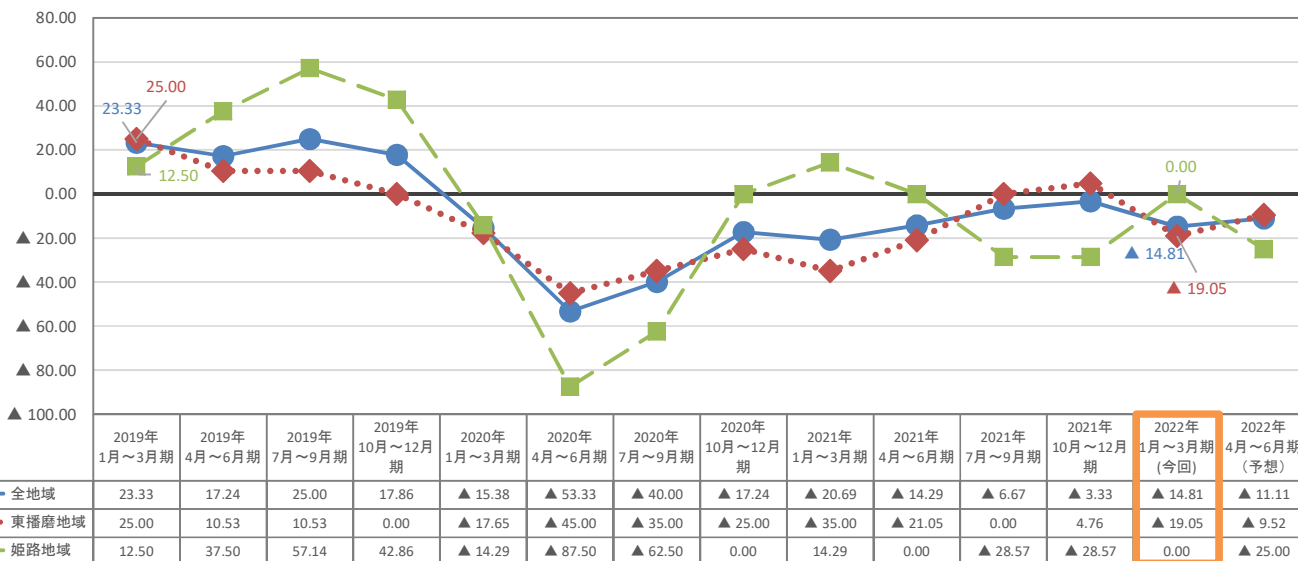


当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



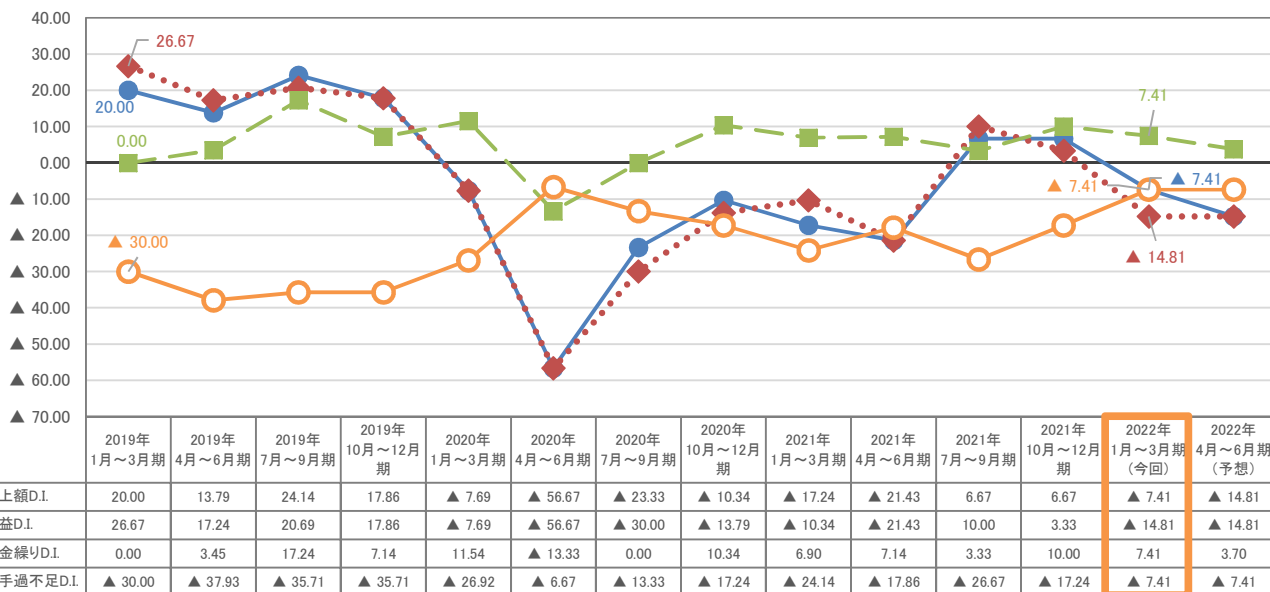
地域別業況D.I.

全地域の業況D.I.は▲14.81 と、前期から 11.48 ポイント低下しています。東播磨地域は23.81 ポイント低下の▲19.05、姫路地域は28.57 ポイント改善の 0.00 となっています。来期は今期と反対に、全地域と東播磨地域で改善、姫路地域が低下の予想になっています。

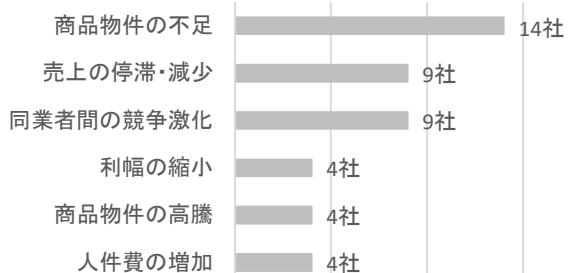


その他主要D.I.

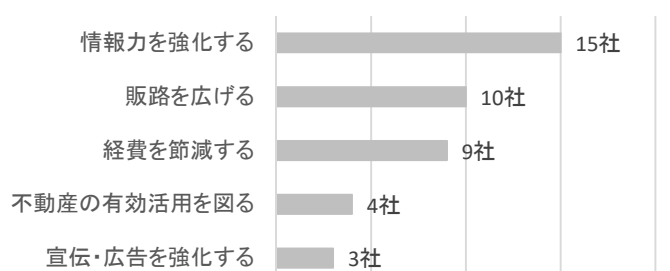
売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.は前期より低下し、人手過不足D.I.は改善しています。来期は売上額D.I.が低下の予想となり、資金繰りD.I.も来期は低下予想ですが、プラス域を維持しています。収益D.I.と人手過不足D.I.は横ばいの予想となっています。



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



地域別業況D.I.

...

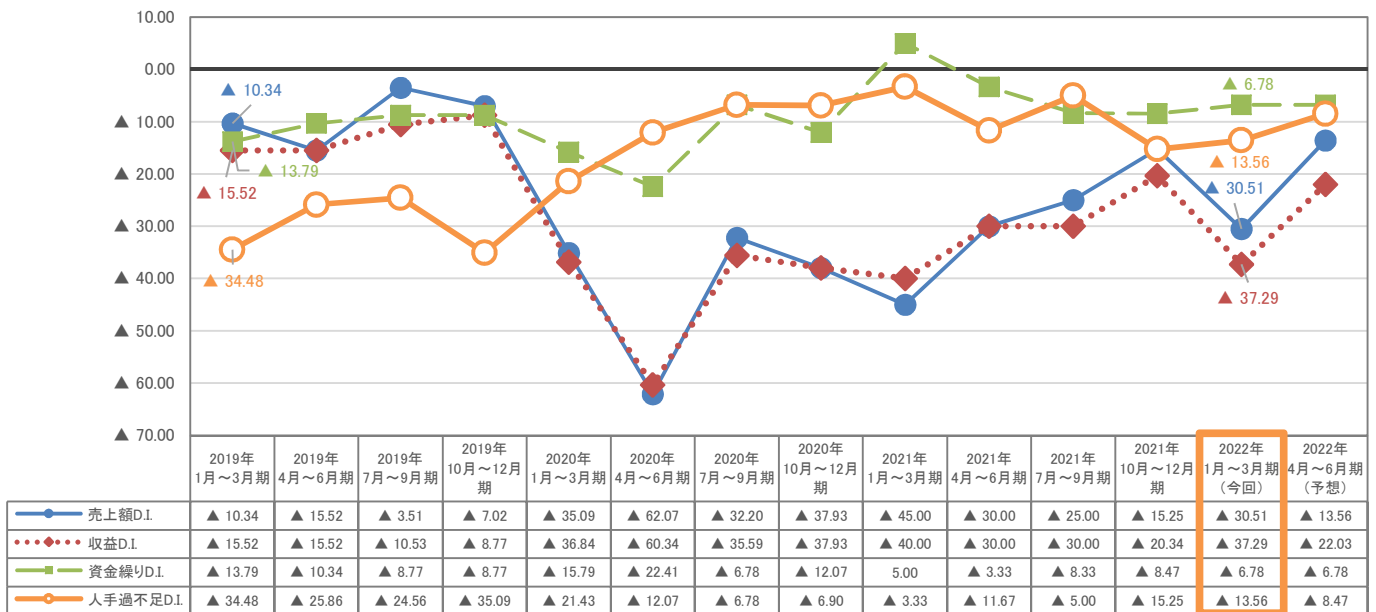
全地域の業況D.I.は▲37.29と、前期から1.69ポイント改善しています。東播磨地域は▲52.38と14.28ポイント低下しています。姫路地域は▲22.73と13.63ポイント改善しています。来期は全地域・姫路地域で改善する予想、東播磨地域では横ばいの予想になっています。



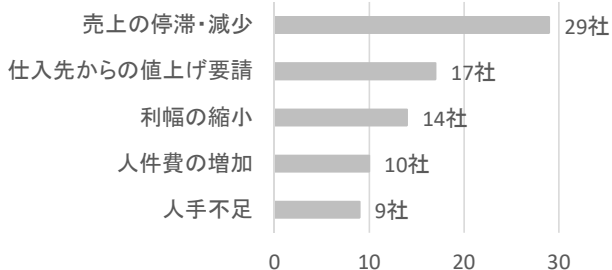
その他主要D.I.

...

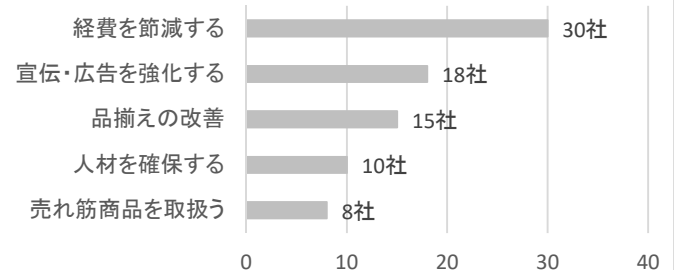
売上額D.I.と収益D.I.は前期から低下し、資金繰りD.I.と人手過不足D.I.は改善しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.で改善、資金繰りD.I.は横ばいの予想になっています。



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



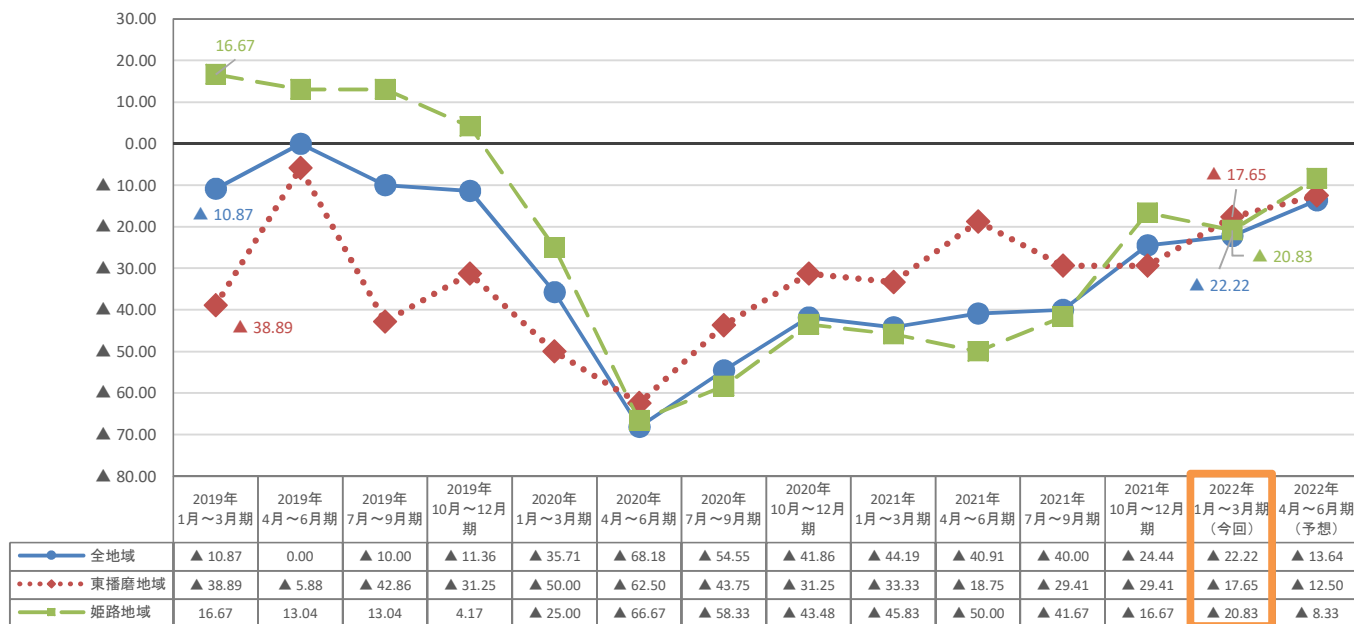
調査員コメント

・売上状況は最低ラインであると言われており、減収減益で資金繰りが厳しい状況。

地域別業況D.I.

...

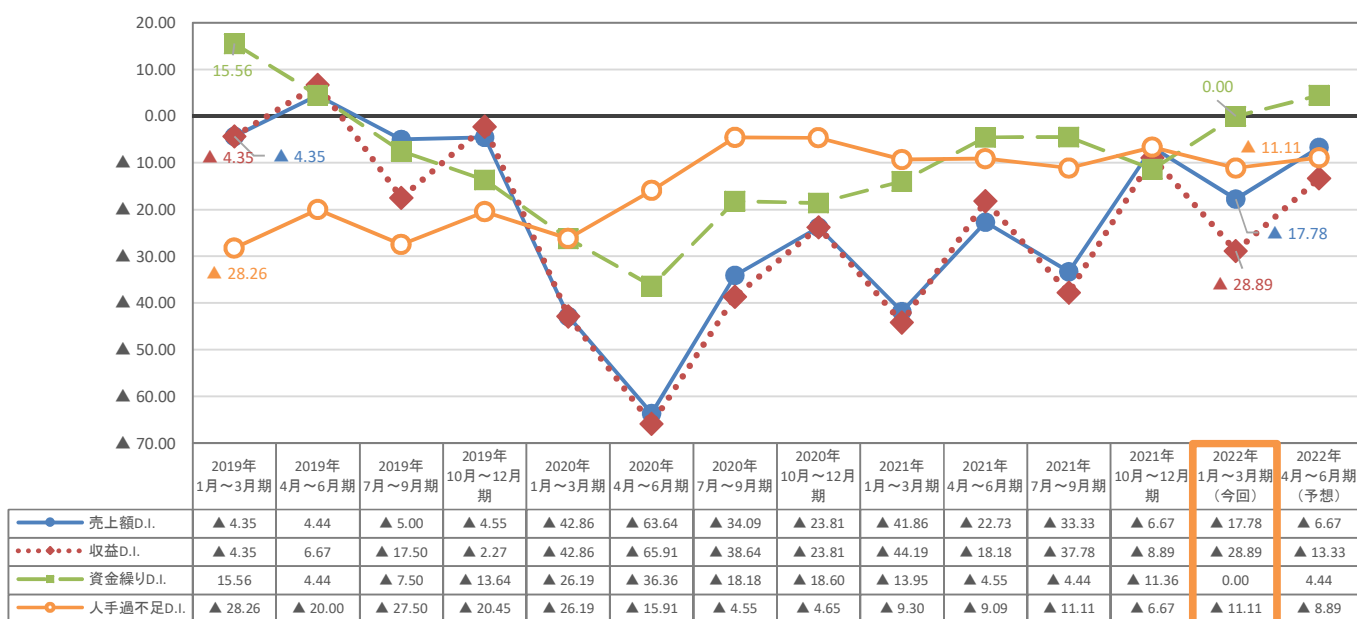
全地域の業況D.I.は▲22.22と、前期から2.22ポイント改善し、東播磨地域も▲17.65と11.76ポイントの改善、姫路地域は▲20.83と4.16ポイントの低下となっています。来期は全地域・東播磨地域・姫路地域いずれも改善する予想になっています。



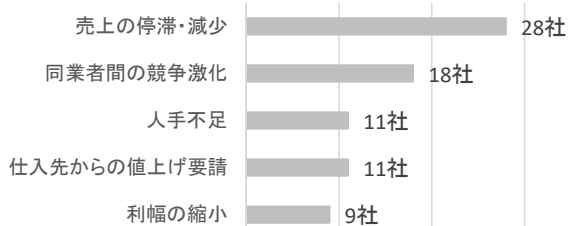
その他主要D.I.

...

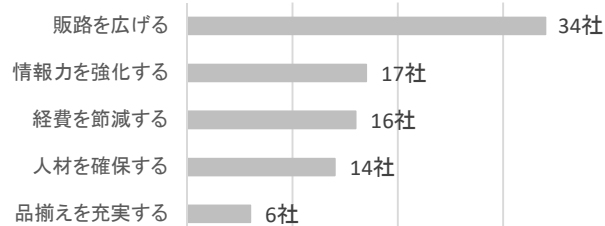
売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.は前期から低下し、資金繰りD.I.は改善しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.・資金繰りD.I.いずれも上記地域別と同じく、改善する予想になっています。



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



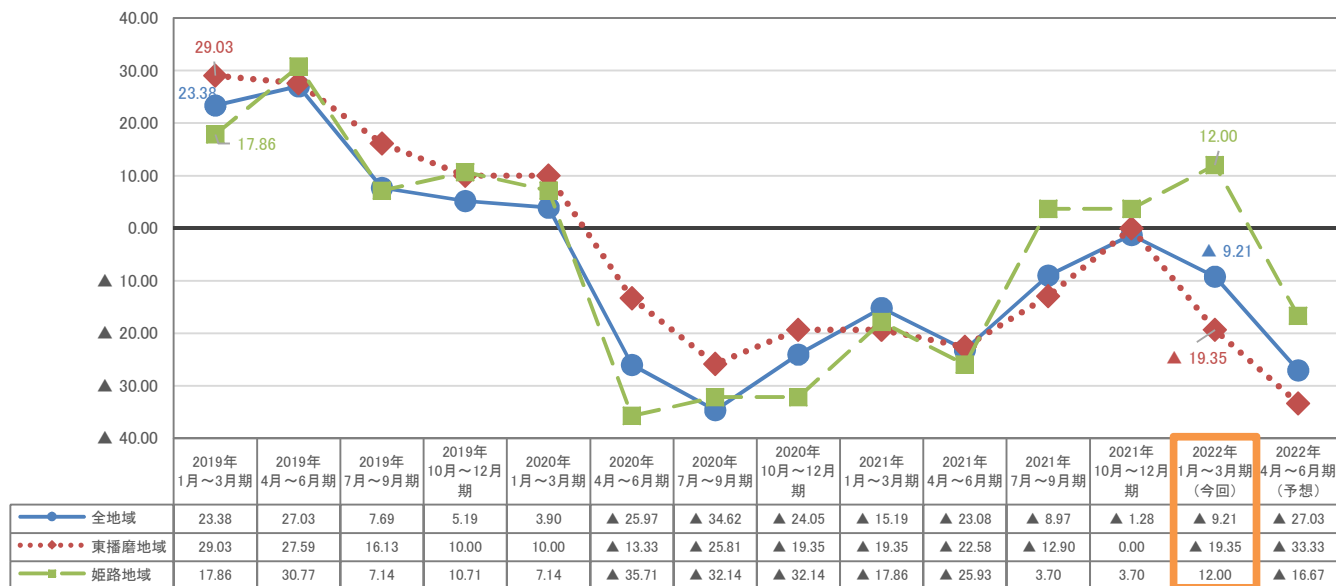
当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



地域別業況D.I.

...

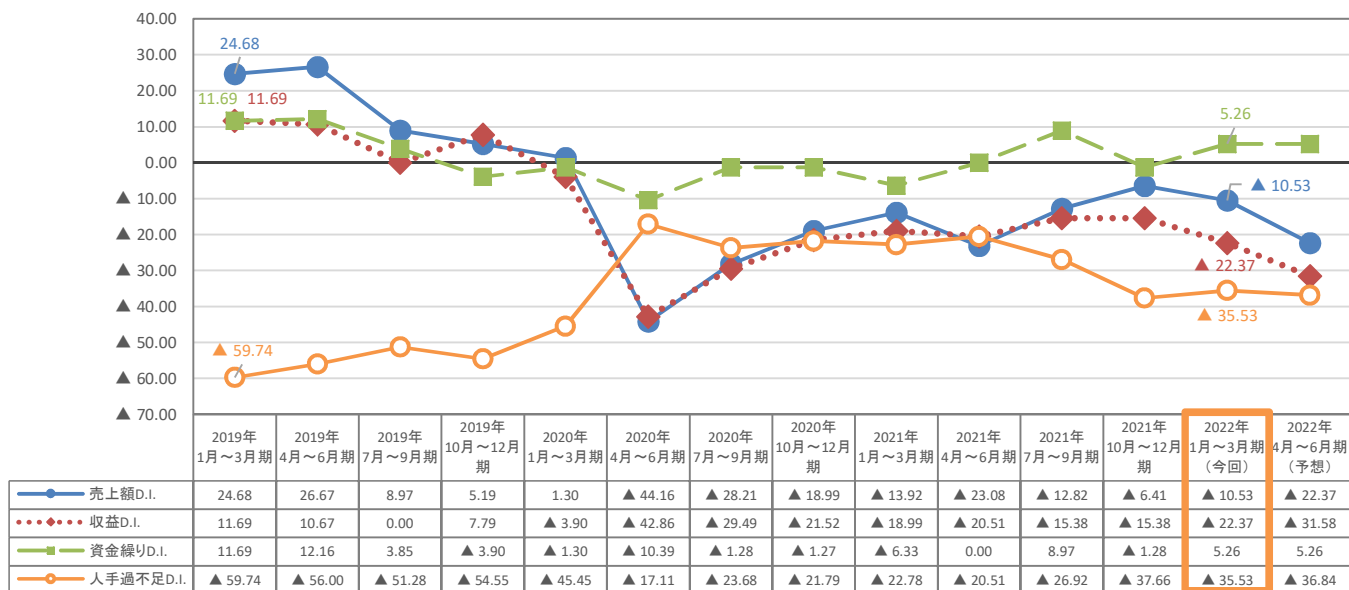
全地域の業況D.I.は▲9.21 と、前期から 7.93 ポイント低下しています。東播磨地域は▲19.35 と 19.35 ポイントの低下、姫路地域は 12.00 と 8.30 ポイント上昇しました。来期は全地域・東播磨地域・姫路地域でいずれも低下の予想になっています。



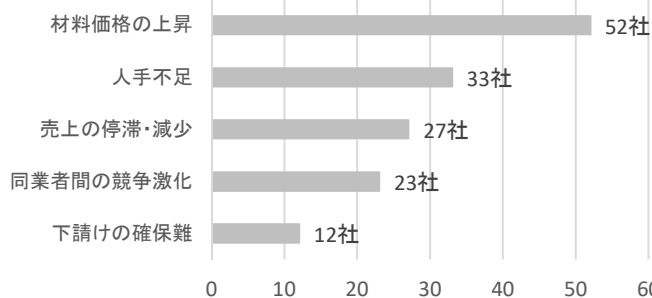
その他主要D.I.

...

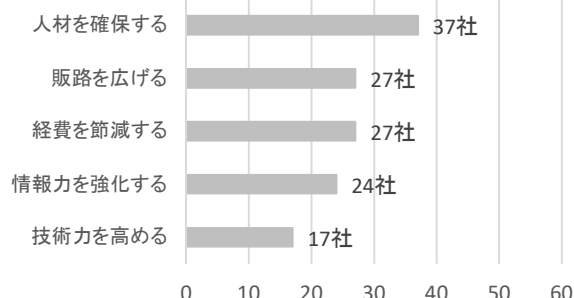
売上額D.I.・収益D.I.は前期より低下し、資金繰りD.I.と人手過不足D.I.が改善しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.が低下、資金繰りD.I.が横ばいの予想になっています。



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)

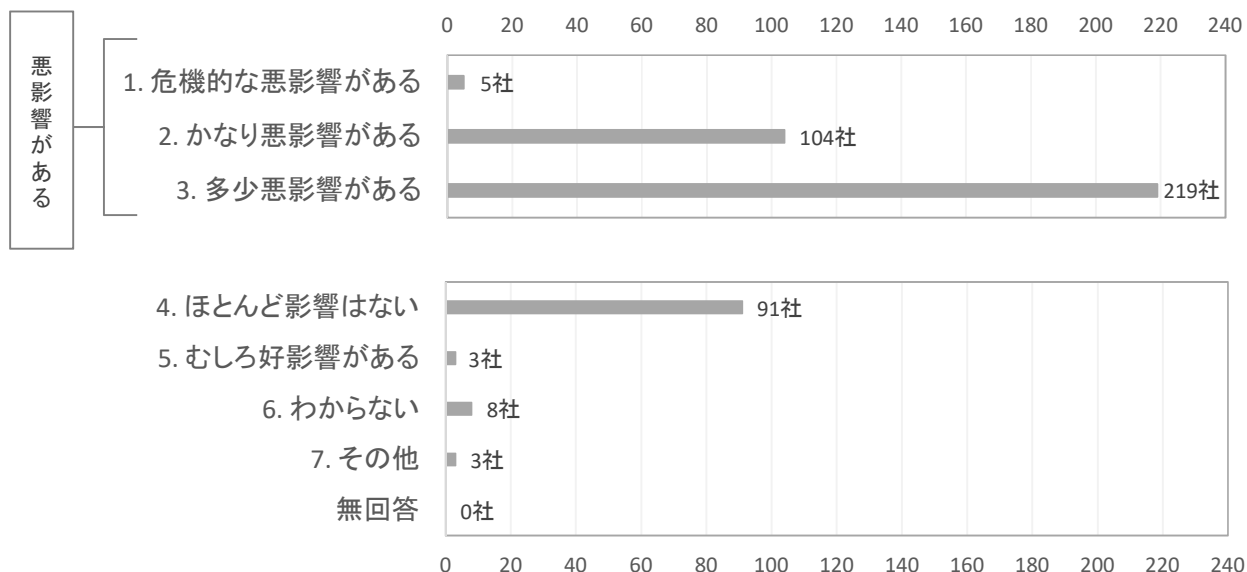


特別調査

「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」

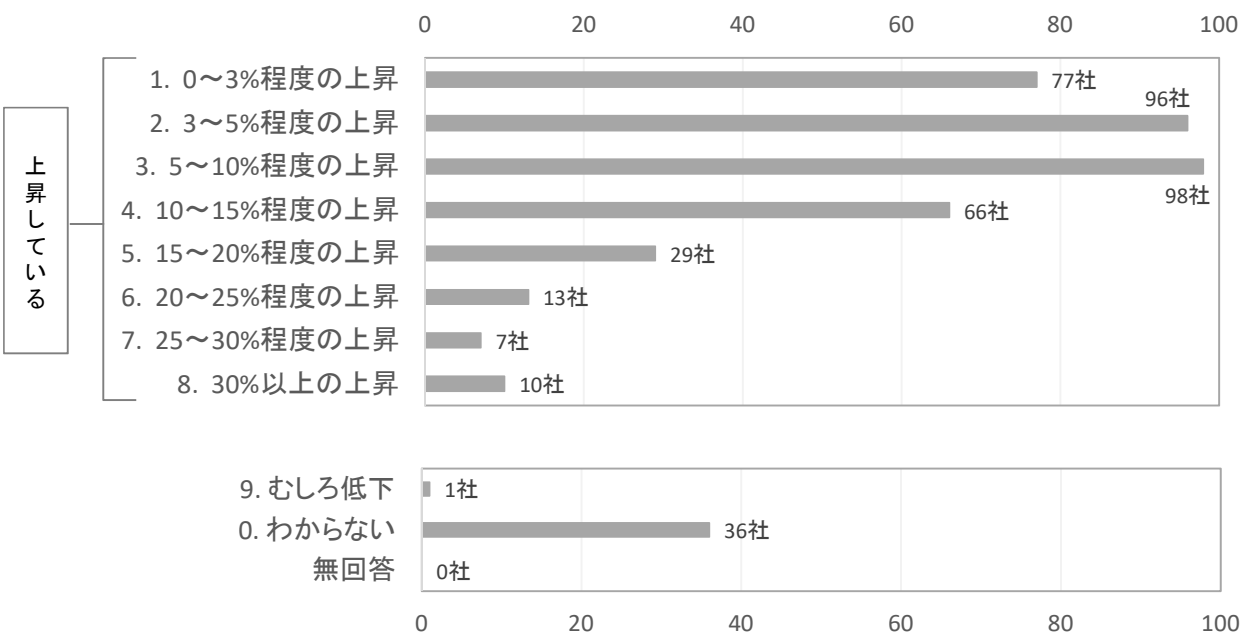
回答企業 433社 回答率 98.4%

問1. 貴社では、最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。
下記の1～7の中から1つ選んでお答えください。



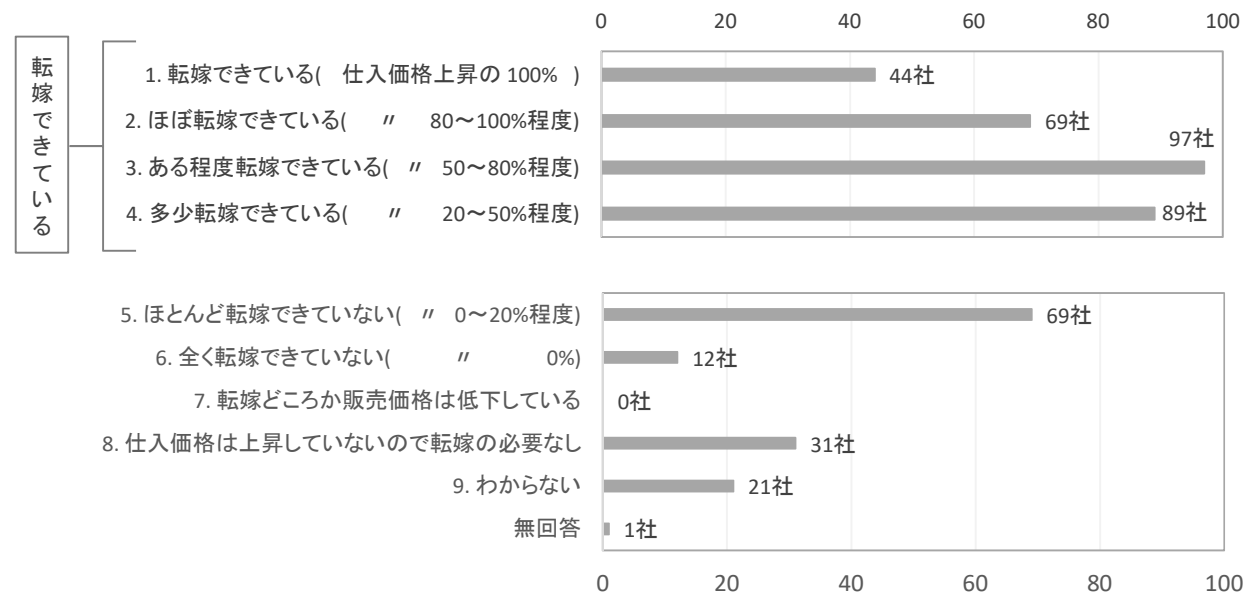
原材料・仕入価格の上昇により「多少悪影響がある」とした回答が最も多く219社、
次いで104社が「かなり悪影響がある」、91社が「ほとんど影響はない」と回答しています。

問2. 貴社の原材料・仕入価格は、1年前と比較してどの程度変化しましたか。下記の1～0の中から
1つ選んでお答えください。



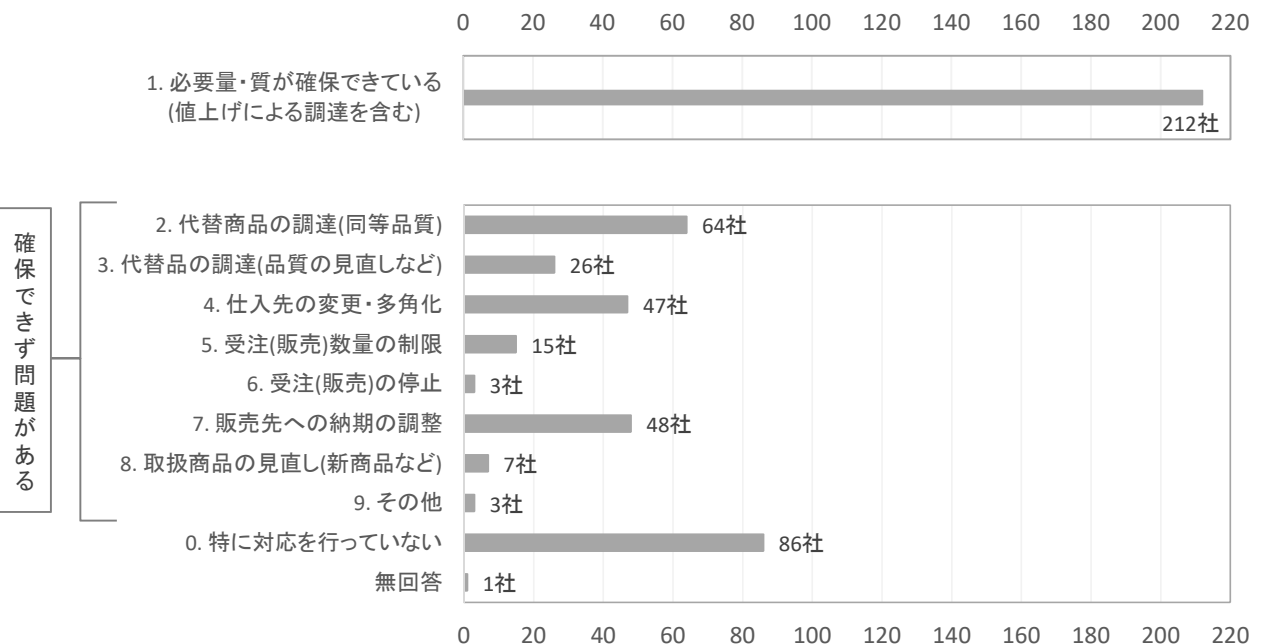
原材料・仕入価格の1年前との比較については、「5～10%程度の上昇」の回答が最も多く98
社、次いで96社が「3～5%程度の上昇」、77社が「0～3%程度の上昇」と回答しています。

問3. 貴社では、原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますか。下記の1～9の中から1つ選んでお答えください。



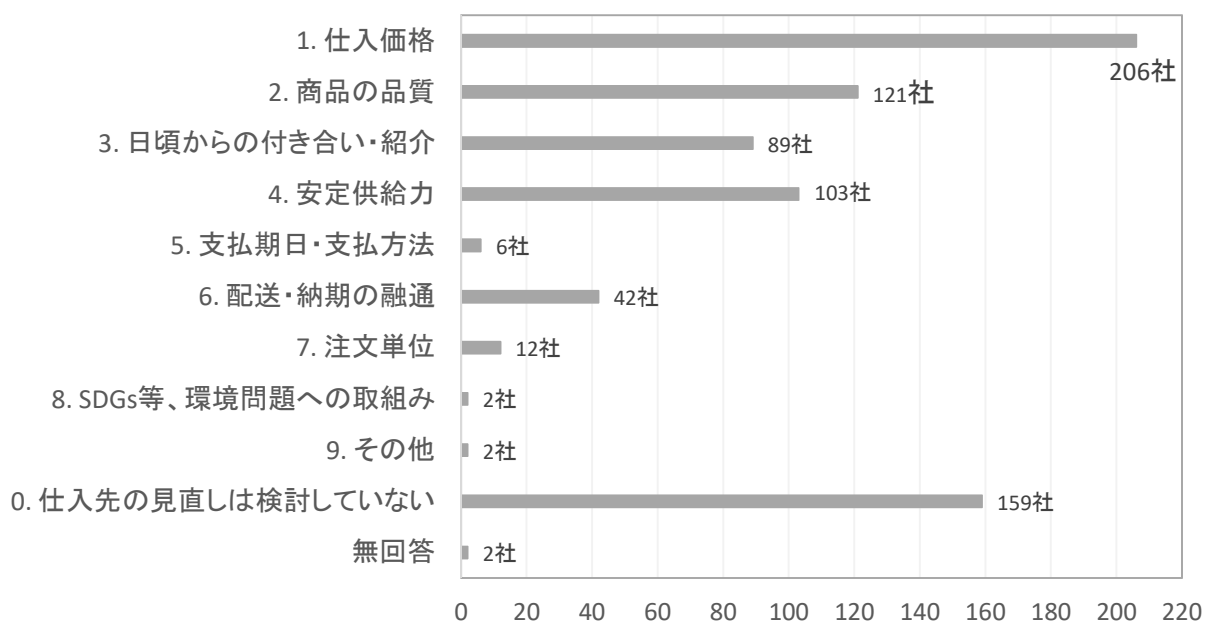
原材料・仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できているかについては、「ある程度転嫁できている(仕入価格上昇の50～80%程度)」とした回答が最も多く97社、「多少転嫁できている(仕入価格上昇の20～50%程度)」の回答が2番目に多く89社となっています。

問4. 原材料・仕入については、価格の上昇のほか、調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれています。貴社では、各種資材や製商品の量や質は確保できていますか。確保できているという方は1を、問題を抱えている方は現在行っている対策を2～0の中から最大3つまで選んでお答えください。



各種資材や製商品の量や質は確保できているかについては、「必要量・質が確保できている(値上げによる調達を含む)」の回答が最も多く212社、2番目に多かったのは「特に対応を行っていない」で86社が回答しています。

問5. 仕入の困難化に伴い、仕入先を見直す動きも出ています。貴社では、仕入先の見直し等を検討するにあたって、重視する点はありますか。1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。



仕入先の見直し等を検討する際、重視する点については、「仕入価格」と回答した企業が最も多く206社、「仕入先の見直しは検討していない」と回答の企業が2番目に多く159社となりました。

※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。投資等についてはご自身の判断によってください。

※ 本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫がその正確性および完全性を保証するものではありません。



“よろず相談所”

但陽信用金庫

<https://www.tanyo-shinkin.co.jp>

本店 加古川市加古川町溝之口 772
TEL(079)-422-7721

生野本部 朝来市生野町口銀谷 511
TEL(079)-679-2253

